



Optics & Photonics Japan 2006
日本眼光学学会合同企画シンポジウム
最近の眼科測定装置

近年、眼光学の分野のトピックはフーリエ変換OCT(FD-OCT)が、医療現場で使えるようになったことであります。これに関する新技術はOptics & Photonics Japanの他のセッションでの発表が盛んに行われています。一方、FD-OCT以外にも最近の眼科領域では、眼球光学系の計測、また、眼底の詳細な観察、網膜部位の機能測定に新しい測定方法や、装置が出てきています。

このセッションでは、これら最近の測定装置を使っていて、いろいろと問題点をお持ちの立場の先生、また、装置を開発している立場の技術者の方に装置の原理、性能、臨床における評価、問題点等を紹介していただき、皆さんの眼光学への興味をもってくださいと共に、討議を通じて、より一層、優れた技術やアイデアが生まれ、日本の眼科医療機器の開発へとつながるシンポジウムにしたいと思います。

会場 学術総合センター（一橋記念講堂）〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2

営団地下鉄半蔵門線 / 都営地下鉄三田線・新宿線「神保町」A8,9 出口

営団地下鉄東西線「竹橋」1b 出口 徒歩 3~5 分

参加登録 OPJ2006 への参加登録が必要です。下記ホームページからお申し込みください。

日時 2006 年 11 月 10 日(金) 9:30 ~ 12:10

プログラム

9:30-10:10 前房深度測定装置の比較

市川 一夫・前田 征広（社会保険中京病院眼科）

10:10-10:50 光断層画像による眼球形状解析

魚里 博（北里大学）

10:50-11:30 補償光学の眼底検査への応用

三橋 俊文（（株）トプコン）

11:30-12:10 オプチカルイメージングによる網膜内因性信号計測法
（Functional Retinography:FRG）

楠城 紹生（（株）ニデック）

OPJ2006ホームページ <http://www.opt-j.com/opj2006/>

連絡先(企画担当) 矢口 博久（千葉大学） yaguchi@faculty.chiba-u.jp